

	教育内容	履修単位	内 容
基礎科目	科学的思考の基盤	14	物理・化学をはじめ臨床工学技士に必要な基礎的科目を履修する。また病院で使用される医学英語を履修する。
	人間と生活		
専門基礎分野	人の構造及び機能	9	人間の構造を知るうえで必要な解剖学・生理学・病理学を覚えると同時に医学基礎実習において実践的な医学的基礎手技を学ぶ。
	臨床工学に必要な医学的基礎知識	12	公衆衛生や基礎医学概論・臨床医学概論を学びその後、外科学、内科学、感染症などの内容を医学各論として履修する。
	臨床工学に必要な理工学的基礎知識	16	臨床工学に必要な電磁気・電気工学・電子工学をはじめ、機械工学、応用数学を学ぶ、また放射線工学などを学び病院で働くための必要な教科を履修する。
	診療工学に必要な医療情報とシステム工学の基礎	8	現在の医療機器は、コンピュータが内蔵されている。このようなことを理解するために情報処理工学をはじめシステム工学を学ぶ。
専門科目	医用生体工学	8	生体は導体でありながら各エネルギーにより独自の反応をします。そのことを踏まえ物性材料学、計測工学を学ぶ。
	医用機器学	8	治療に利用される医用治療機器学、医用計測工学を学び基礎的実習を行う。
	生体機能代行技術学	12	呼吸、代謝、循環の分野においてそれぞれの臓器代行装置学を学ぶとともに、人工呼吸器、血液浄化装置、人工心肺装置の実習を行う。
	医用安全管理学	6	病院内で使用される医用機器の安全管理を行うための安全工学の基礎と実践を学ぶ。
	関連臨床医学	6	臨床工学技士として専門分野になる呼吸器学、腎泌尿器科学、循環器学を学ぶ。
	臨床実習	4	病院実習を通し、臨床現場で実践を学ぶ。
	研究科目	臨床工学技士持論	12
	合 計	115	